

令和8年度の保健事業について

◆前年度からの変更点

① 特定保健指導 3年連続対象者への受診勧奨

令和6・7年度は、特定保健指導対象者全員に受診の意思があるかどうかの案内文書を送付し、希望者にのみ受診してもらいました。令和8年度は、過去2年とも対象者となった方が2年とも受診せず、令和8年度も特定保健指導の対象となった場合には必ず受診していただくことをお願いしております。ご自身の努力だけでは変えることが難しい生活習慣を見直す機会として、ご利用ください。費用は全額健保負担です。

② 年間医療費のお知らせ 希望者にのみ発行

加入者の皆様にご自身の治療等にかかった医療費の確認や確定申告に医療費控除に活用していただくため、年1回2月下旬に「年間医療費のお知らせ」をお送りしておりました。現在、マイナンバーカードの保有率が80%を超え、マイナポータルから医療費通知情報（保険診療分）を取得しe-TAXと連携して確定申告を行う方が増え、紙で発行する医療費のお知らせが不要という方もいらっしゃいます。つきましては、令和8年度の「年間医療費のお知らせ」は希望者にのみ発行いたします。ご希望の方は申込書を期日までにご提出願います。

なお、令和8年1月1日以降の資格取得者には申込書がなくても発行いたします。

③ ウォーキングキャンペーン Web版の導入（5月実施分のみ）

昨今のスマートフォンの普及により、歩数管理をスマホで行っている方も増え、「そのままWeb管理できるようにしてほしい。」というご要望を過去にいただいたことがあります。今回、健保連より「健保連東海地区健康ウォーク Web版」の案内があり、試験的に導入することにいたしました。これにより、春のウォーキング期間は5月の1か月だけの開催期間となります。詳細は後日ご案内いたします、今回のWeb版参加者のご意見を伺い、来年度以降Web版の導入を検討いたします。ただし、秋のウォーキングキャンペーンについては、昨年同様の紙またはエクセルの運用を予定しております。

◆令和8年度の保健事業一覧

時 期	対 象 者	種 目	助成内容
5月～12月	40歳以上の被扶養者 ※1	特定健康診査	全額健保負担
4月～1月※2	40歳以上の被扶養配偶者※1	人間ドック※3	実費のうち上限2万円
4月～1月※2	35歳以上の被保険者	人間ドック※3	〃
通年	特定保健指導対象者	特定保健指導	全額健保負担
秋	被保険者	医薬品斡旋	上限2,000円
5月 10・11月	被保険者	ウォーキング	参加者に記念品
10月～2月	被保険者・被扶養配偶者	インフルエンザ予防	接種費用上限3,500円
通年	禁煙に取り組みたい被保険者	禁煙対策	禁煙外来自己負担分 上限10,000円
2月	希望する被保険者 (被扶養者診療分含む)	医療費通知	全額健保負担

※1 現在39歳の方でも令和9年3月31日までに40歳になる方は受診可能。

令和9年3月31日までに75歳になる方は、74歳の間が受診可能期間。

40歳以上の被扶養配偶者で今年度中に人間ドックを受診予定の方は、特定健康診査と重複して受診することはできません。

※2 人間ドック補助金の申請期日は令和9年2月28日です。

領収書または請求書（医療機関からの請求書写を含む）、および結果データを期日までにご提出ください。

※3 人間ドックの補助金対象となる検査項目

健診機関により若干の違いはありますが、当健保では別紙「人間ドック補助金対象検査項目」がすべて含まれている人間ドックについて補助金の対象としています。

脳ドック、胸腹部CTドック等の単独ドックは認められませんのでご注意ください。

また、早期発見・早期治療の為の疾病保健事業ですので、原則として検査項目の削除は認めておりません。特別な事情がある場合は、受診する前に健康保険組合までご相談ください。

〈胃の検査について〉

人間ドックの胃の検査について、前年度お問合わせのあった事例を挙げますので、ご参考に
なさってください。どうしても胃の検査を受けたくない方は

- ① 人間ドックの補助金を受けない
- ② 人間ドックを受けない代わりに40歳以上の方は特定健診、40歳未満の方は定期健診
を受診する

のどちらかを選択いただくことになります。

Q1. 胃カメラは、完全に眠ってしまわないと受診できないのですが、ドックを受ける健診機
関では「完全に眠れる状況は出来ない」と言われました。受けなくてもいいですか。

A1. 完全に眠らないと受診できないのは個人の理由で認められません。

Q2. 過去にバリウムを飲んで便が出なくなったことがあります。

過去に腸・肛門の手術をしたのでバリウム検査が受けられません。

胃の検査はうけなくていいですか。

A2. バリウム検査が受けられない方は内視鏡（胃カメラ）検査を受診してください。

Q3. かかりつけ医で最近胃の内視鏡検査を受けた、または今後受ける予定です。

受けなくてもいいですか。

A3. すでに今年度（令和8年4月以降）胃の内視鏡を受診したことが健保で確認できた方
については胃の検査を受けなくても補助金対象といたします。今後受ける予定のある方は、
事前にかかりつけ医に「人間ドックで胃の内視鏡検査を受ける予定がある」ことを伝え
てください。ドックで受ければよいのであればドックを優先してください。かかりつけ
医で受けなければならない場合は、レセプトで内視鏡検査の受診が確認できた時点で補
助の対象とします。かかりつけ医で受診予定の方はご連絡ください。

この取り扱いは胃の検査が他の検査に比べ苦痛が多いことに加え鎮静剤の副作用に
配慮したものであり、他の疾病について、かかりつけ医でドックの検査項目と同様の
検査を受けている方が「かかりつけ医で診てもらっているから、ドックの検査を受け
なくても補助金の対象となる」というわけではありませんので、ご了承ください。

(別紙)

人間ドック補助金対象検査項目

1. 問診（服薬歴、喫煙歴、既往歴、自覚症状、他覚症状の有無）
2. 身長、体重、BMI、腹囲
3. 血圧
4. 尿検査（糖、たんぱく、潜血）
5. 血液脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、総コレステロール）
6. 血液肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP、ALP）
7. 代謝系検査（空腹時血糖あるいはHbA1c、尿酸）
8. 聴力検査（オーディオ）
9. 視力
10. 血液検査
11. 腎機能検査（クレアチニン、eGFR）
12. 免疫便潜血反応検査（2日法）
13. 胃部レントゲン検査（直接撮影）もしくは胃部内視鏡（胃カメラ）
14. 胸部レントゲン
15. 心電図

以上